

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 片江

作成日: 平成 29 年 9 月 15 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	職員一人ひとりが、理念の意義や目的が理解できるように見やすい場所に掲示しているが、理念に基づいたケアが来ているかを確認し、利用者の笑顔に繋がる介護サービスに取り組んでいく。	朝の申し送り時や、職員会議の中で、理念について職員間で話し合い、理念に基づいた介護の在り方を検討し、職員の意識の高揚に繋げていく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	駐車場が狭く、家族からは駐車しにくいと不評で、それが家族面会が少ない大きな要因になっているので、家族と何らかの方法でコミュニケーションを図り、家族との信頼関係を築いていく。	ホーム便りを毎月発送できるように工夫し、利用者の生活状況や健康状態を記載して、面会が少なくなってきた家族にも十分理解できるように努力し、家族の安心に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。